

令和元(平成 31)年度の事業報告書

平成 31 年 4 月 2 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人博心館
理事長 加藤博彦

1 事業の成果

平成 31 年、子ども塾は児童登録者数 39 名 (b&g 対象児童 10 名) でスタートし、期末は 44 名 (b&g 対象児童 12 名) となった。昨年度に比べ児童数は増加したが、b&g 対象児童については目標を 20 名と定めていたため目標達成には至らなかった。

塾では子どもたちの自己肯定感、非認知能力向上を目的とし、宿題のサポートは毎日行い、古典学習、道徳などの独自プログラムや、「ライオンズクエスト」、屋外課外授業を定期的に行った。

夏休み冬休みの長期休暇には、ハウステンボスや海水浴、マリンワールド訪問などの課外活動や、夏祭り、餅つきなど地域イベントにも参加し、子どもたちに楽しい思い出ができるように、また協調性などの非認知能力の向上を目的にプログラムを行った。

結果、子どもたちとスタッフの距離も縮まり、子どもたちにとって当塾が第三の居場所として安心できる場になっていると思われる。

スタッフも、教員経験者、児童支援員経験者を含むパートが大幅に増え、現在 15 名となり子どもを見守る体制が整ってきた。よく話を聞き寄り添うことが自己肯定感向上に重要で、非認知能力向上にとっても大切な要素であると考えます。スタッフが充実してきたことにより、以前に比べ格段に子ども一人一人に関わる時間が増えた。そして子どもたちと深く接する事により、環境に課題を抱えている子どもたちに対しては通常の対応では不十分である事もわかってきた。今後は子ども一人一人を取り巻く課題を明確にし、どのように対応すべきかを皆で十分に検討し対応していくよう努めていきたい。また学学習の面でも今よりも積極的に関わっていき、子どもたちのさらなる自己肯定感の向上に努めていきたい。

当塾の目標は片親家庭、および貧困環境下の子どもたち (b&g 対象児童) が得ることが困難とされている社会的相続を補完することを目的としている。子どもを取り巻く環境の違いによる「様々な社会的格差」をなくすため、本年度は行政と「b&g 対象児童の利用がなぜ増えないのか」を今までより深く追求し、よりたくさん子どもたちが当施設を利用できるよう効果的な対策を考えていきたい。

食事の提供については現在子どもたちの希望者は 6 割程度だが、本年度より栄養士が加わり栄養を重視したメニューを作成した。今後保護者にも広報を行い利用者を増やしていきたい。また、ボランティアとして参加して頂いた方にもお礼として食事を提供する予定である。

全般的に塾事業としては、運営体制も整い事業内容も確立してきたと感じている。新型コロナウイルス流行時の突然の休校にも対応できた。今後も適時改善をしながら利用者に対しより充実安定したサービスが提供維持できる体制を整えていきたい。

ただ塾生増加に伴い、子どもたちの心の問題や運営上の問題などいくつかの解決すべき課題も明らかとなった。また令和 4 年からは日本財団からの助成もなくなるため、事業維持のための収入手段も早急に対策を考え行動しなければならない課題である。

現在将来の収入源としては、塾事業による収入、食堂事業による収入、地域企業からの事業収入 (広告等)、行政からの支援を考えている。

本年度末、地域住民を対象とした食事や持ち帰りメニューを作成し、試験的に地域の皆さんに提供している。また同じく地域住民を対象とした買い物代行サービスも開始した。これらの事業はまだ浸透していないが、今年度はこのような地域住民を対象とした事業を確立し、住み続けられるまちづくりの一助となるNPOとして周囲に認知してもらえよう活動し、今後の事業収入につなげていきたいと考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位:千円)
①子どもの貧困対策に関する事業	1-1 こども食堂および学費援助事業 :夕食昼食利用は合計29回と前年度より多かったが、主に利用していた児童の塾利用が無くなったため、10月以降の利用は無かった。 臨時休校時には、合計105名が利用した。 1-2 子どもの第三の居場所事業 :当初39人(内、当該事業対象児童10名)→期末44名(内、当該事業対象児童12名)。	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員15名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童 (E)44名	2,118
②学力・人間力育成に関する事業	2-2 こども塾の開催 2-1 人間力育成講座の開催 (論語などの古典学習指導) 2-3 日本の伝承あそび継承事業 (コマ、羽つき、将棋等) 2-4 日本の伝統文化に触れながら日本人の精神を継承する活動 2-5 子どもの学習能力向上のための専門家による学習指導 2-6 各種体験学習 (実験、工作、屋外、農業体験) 2-7 AIロボット活用などの事業(ペッパー、ロボホン他) 2-7は、行わなかった。	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員15名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童 (E)44名	2,226

③ 子育て応援に関する事業	3-1 子ども及び当団体関係者の発育健康啓発活動 3-2 ひとり親家庭の親(特に母親)の事業参画への呼び掛け 3-3 放課後児童健全育成事業 3-1 は、行わなかった。	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員 15 名 ボランティア 27 名	(D)唐津市内の児童 (E) 44 名	0
④ 国際交流に関する事業	4-1 国際交流や語学学習を通し、唐津在住の外国人家庭の支援や子どものグローバル化に対応できる教養を支援 :12月14日(土) 「地域で子ども育成事業」参加 4-2 外国人家庭の子弟との交流 4-3 在住外国人、訪日外国人に対する便宜増進を図る事業	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員 15 名 ボランティア 27 名	(D)唐津市内の児童及び外国人家庭 (E) 44 名	0
⑤ 地域コミュニティの醸成に関する事業	5-1 地域コミュニティを醸成するイベント等に参加し、地域の活性化に寄与 :8月17日(土) 「夏!フェス三の丸」参加、 :12月14日(土) 「地域で子ども育成事業」参加 (お餅つき)	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員 15 名 ボランティア 27 名	(D)唐津市内の児童 (E) 44 名	166
⑥ 他団体の活動支援に関する事業	本年度は実施なし	—	—	—
⑦ その他、会の目的達成のために必要な事業	7-1 活動に伴う広告 7-2 食堂事業、買物代行事業 7-1 は、行わなかった	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員 15 名	(D)唐津市 (E)唐津市民	148